

2007 年度

科目名 国文学演習Ⅳ	対象学科・学年 研究科前国 1 回生 研究科後国 1 回生	担当者 高橋 圭一
授業テーマ 江戸の写本を読む。		
授業の概要と目標 高橋架蔵、もしくは大阪大谷大学附属図書館所蔵の近世の写本を翻刻します。講釈師が読んだそのままを写した、いわゆる丸本は今まで翻刻されたものがありませんから、その一作を取り上げる予定です。翻刻が終り次第、活字化します。		
評価方法 翻刻の出来具合で評価しますが、出席も重視します。		
テキスト コピーを配布します。	著者	出版社
参考書 『くずし字用例辞典』は持つておくべきでしょう。	著者 児玉幸多（編）	出版社 東京堂出版
授業スケジュール・内容 1、実録概説。 2、続き。実録と講釈。 3、続き。丸本と点取り。 4、翻刻開始。高橋による翻字。 以降、一年間翻刻を続けます。翻刻は字を読むことより、文脈を読むことの方が大切で、難しいのです。また、江戸語をたくさん知っていればいるほど、ラクになります。活字化された江戸文学を普段から読むように心がけてください。		